

「自分を・なかまを・本島を」大切にできる心を育てる合同行事

ねがい

〈目的〉

自己表現が苦手な、自分のよさを認められない傾向にある子どもたちに、なかまと共に活動する中で有用感や達成感を味わわせ、今を生きる自信と明日につながる希望を持たせたいと考えました。

〈内容〉

つながり

● 本島町合同運動会

午前中は保幼小中の学校中心に、午後からは本島町の運動会として開催され、子どもたちは演技だけでなく、道具の出し入れや演技種目の補助など運営にも力を発揮しています。

小規模校の利点を生かし、小中合同の縦割り班を3グループ作り、リレーや障害物競走などで、一人一人がなかまのために頑張りました。また、中学生の高度な組立体操や小学生のひたむきな演技に、多くの島民から暖かい拍手をいただきました。

● 小中合同クリーン活動

島に帰省した方々や観光客の方が、気持ちよく過ごすことができるようにという思いから、港周辺や海岸などのクリーン活動を実施しています。小中学生合同の縦割り班を編制し、中学生がリーダーとなり、小学生に指示を出しながら活動しています。毎回たくさんのごみが回収され、海から流れ着いた物も多いことから、「ごみを捨てない」という意識を持つことの大切さを感じています。



【小中合同クリーン活動】

● 保幼小中合同文化祭「本島っ子まつり」

保幼小中合同の文化祭「本島っ子まつり」は、島内の多くの方々に、これまでの学習の成果を発表する場です。小中学生が司会進行し、音楽発表や劇を披露します。今年は、総合的な学習の時間に学んだ人権学習を劇にしました。なかまと練習をしていく中で、台詞に込められた思いを理解し、それを自分のものとして表現することができました。

また、会場では地域の方の協力によるうどんのお接待や作品展示、保護者の方によるバザーなど、島あげての行事となっています。

高まり

〈成果〉

合同行事を通して、いつもは教師の指示待ち傾向のある中学生が、自主的に活動するなど、頼られる存在としてリーダー性を育てることができました。また、小学生は、中学生の活動の様子に触れ、憧れの存在として意識することで活動意欲を増すことができました。更に、自信を持って主体的に活動できるよう、活動内容の充実を図りたいと思います。